

し ぶ し 志布志



市議会だより

No.29 2013.5.24発行

埋蔵文化財センター開館



議員報酬引き下げを継続	3
25年度当初予算	4
工業団地整備事業特別会計を設置	6
7議員がっっぱん質問	9

原田地下式横穴墓は有明町原田にある古墳時代のお墓で、昭和54年(1979年)に畑の耕作中に見つかりました。地下式横穴墓とは、地面から真下に穴を掘り、そこから横方向に穴を掘って、亡くなった人を葬るための部屋を作るお墓のことで、主に宮崎県南部から大隅半島にかけてみられます。

本会議での質疑応答

委員会での質疑応答は7頁

Q 原田地下式横穴墓
軽石製組合せ石棺

が県に展示されていた
が、埋蔵文化財センター
に展示できないのか。ま
た、旧有明町の土橋に出
土した銅矛のレプリカ
は展示できないのか。

A 展示する方向で計
画を進めている。

**志布志市埋蔵文化財
センター条例**

条例

埋蔵文化財を保存・展
示し、市民の文化の向上
に資するため、埋蔵文化
財センター設置に関す
る事項を定める。

平成25年3月定例会を、2月26日から3月25日までの28日間開き、一般会計・特別会計の当初予算、平成24年度補正予算など議案34件を審査しました。
 当初予算は前年度との比較で7億4700万円、4.1%の増となりました。
 新たに工業団地整備事業特別会計を加えるための一部改正や志布志市インフ
 ルエンザ等対策本部の設置に関する条例が原案どおり可決されました。
 他の議案及び議員報酬を引き続き減額する発議1件、議員の費用弁償を減額
 する発議1件を原案どおり可決し、環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉
 参加に反対する意見書を国に提出しました。
 一般質問は7名の議員が施政方針などについてただしました。

Q 埋蔵文化財センタ
ーに配置する職員
は文化財関係に知識を
持った職員を配置すべ
きだと思つた。

A 市民の方々により
多く利用してもら
うことを前提としてい
る。ある程度専門的な知
識のある職員でなけれ
ば対応できないと思つ
どういう職員を何名ぐ
らい配置すれば小学生
や中学生、一般の方々
が来場されたときに、よ
い対応ができるか総
務課とも協議してい
く。

補正

(全会一致で可決)

一般会計補正予算
(第6号)

本会議での質疑応答

委員会での質疑応答は6頁から

Q ふるさとづくり委員
会事業で、3地区の
委員会が事業申請して
いない状況だが、アドバ
イス等はしているのか。

A 21地区すべての地
区にふるさとづく
り委員会が設置されて
いる。3地区が事業の申
請をしていないが、1地
区については高齢化の
ため引き続きあり方に
ついて指導をしていく
残り2地区については
は、これまでは申請があ
ったが24年度は取りま
とめができなかったと
ころである。25年度は
全21地区申請されるよ
う指導をしていきたい。

Q 尚志館高校の選抜
に伴う補助金に
関し、他の
補助金との
整合性を
示せ。

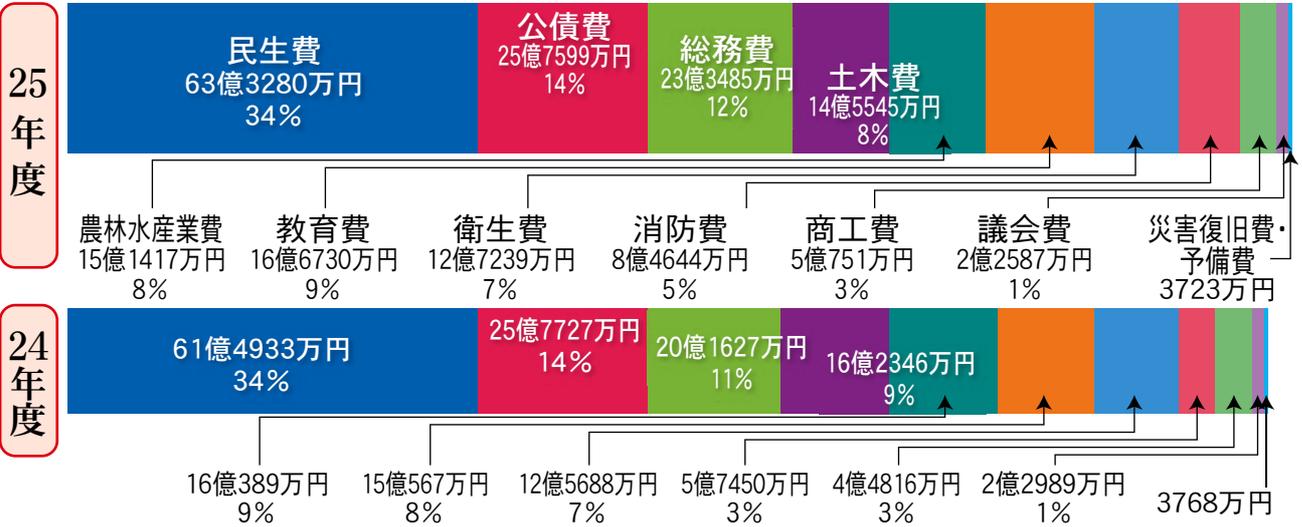
A 現在の補助金交付
要綱は、中学生の運
動部とスポーツ少年団
が対象であった。今回
高校生も対象となる要
綱を整備して支出す
る要綱の中には選抜高
等学校野球大会、全国高
等サッカー選手権大会、全
日本バレーボール高等
学校選手権の大会に出
場する場合の補助金を
予算計上している。水泳
の山口選手については、
現行の要綱で旅費の2
分の1助成があり、過去
に約20万円程度を支
出している。大相撲後援
会については、今年度20
万円の補助金を計上し
ている。



7000万円

前年度比
4.1%増

歳
出



25年度の主な事業

移住定住促進事業 1300万円

少子高齢化により人口減少が進む中、市外からの移住者に対して住宅の新築、購入経費の一部を助成します。

① 住宅取得補助金 補助対象地区に住宅を新築、購入した場合に経費の5分の1を助成。(限度額200万円)

② 子ども補助金 同一世帯に小学生以下の子どもがいる場合に1人当たり20万円を助成。



志布志中学校

志布志地区中学校統合に伴う施設整備

4063万円

志布志地区の田之浦中学校及び出水中学校を志布志中学校へ統合するため、通学バス待合所・駐車場・屋外トイレ等を整備します。

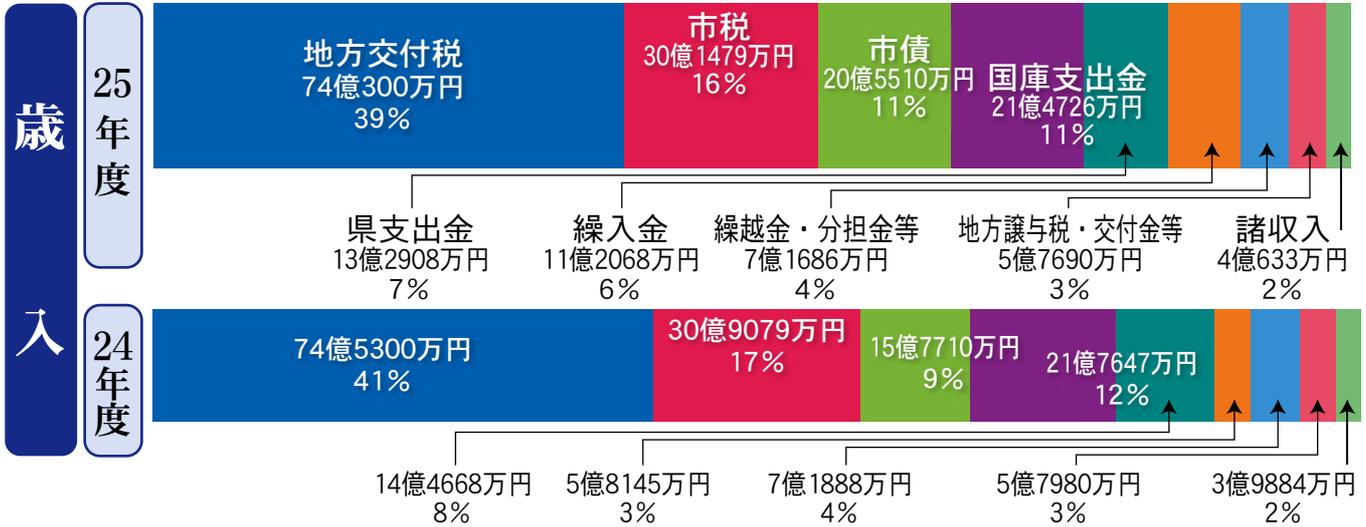
養育医療給付事業 249万円

医療を必要とする特定の未熟児に対して養育に必要な医療の給付を行い、未熟児の健康増進を図ります。



25年度 一般会計予算

187億



その他の事業

河川監視カメラ暗視対応構築事業 ……1 5 5 万円
河川監視カメラに赤外線投光器を設置し、夜間の河川情報収集を行います。

全国茶サミット鹿児島大会IN志布志 ……7 0 0 万円
第18回全国茶サミット鹿児島大会が志布志市で開催されるため、大会の運営経費を助成します。

運動公園屋内温水プール改修 ……1 億 2 6 6 万円
老朽化している施設を改修し、利用者の安全性の確保と利便性の向上を図ります。

国民文化祭実行委員会支援 ……1 3 1 万円
平成27年度に鹿児島県で開催される国民文化祭に向けての準備活動及びムービーコンテスト募集用デモ映像の制作などを行う実行委員会の活動を支援します。

蓬の郷空調設備改修 ……3 1 5 0 万円
老朽化が進み営業に支障があるので、経費の節減と市民サービスの維持、向上を図るため空調設備を改修します。

行政経営推進支援業務 ……6 2 8 万円
行政評価制度を活用し後期基本計画の進行管理を行います。また、業務量調査を実施しながら、業務マネジメントの手法を活用し、業務の改革改善や職員の業務の平準化に取り組みます。

セカンドブック事業 ……4 8 万円
読書に親しむ機会と読書習慣を身につけてもらうため、小学校入学時の新1年生を対象に選書した20冊の中から希望する絵本を1冊プレゼントします。



交流館が整備される市立図書館

志ふれあい交流館を整備 4 6 8 0 万円
子どもから高齢者まで、いつでも、だれでも、楽しく集い、交流し合える「志ふれあい交流館」(仮称)を市立図書館敷地内に整備します。

新規就農者に補助金 3 0 0 万円
将来、本市の農業を担う意欲ある人材育成と人材確保を図り、農業農村の活性化と農業振興に寄与するため、平成24年4月1日以降に新たに専門的に就農し、要件に該当する方に補助金を交付します。



工業団地整備事業特別会計を設置

総務委員会

志布志市特別会計 条例の一部改正

今回の改正は、志布志港新若浜地区背後地に志布志市臨海工業団地開発事業を実施するため、工業団地整備事業特別会計を設置するものである。

Q 昨年、債務負担行為の設定をしたものが、なぜ短期間で特別会計になったのか。

A 土地開発公社が用地交渉を進めるためのものであったが、事業推進にあたり、県の指導で特別会計の提案になった。

志布志市駐輪駐車場 条例の一部改正

この条例は、まちあるき観光拠点事業により新たに整備された施設の名称及び位置を定め「志布志市麓地区駐輪駐車場」とした。

Q 夜間の施設の使用と、トイレの清掃業務はどこに委託するのか。

A 24時間オープンであり、夜間はセンサーで明るくなるようになって

いる。トイレ等の清掃については、シルバー人材センターに願います。

Q 小学校からの要望はなかったか。

A PTAの行事等がある際は使用させてもらいたいとの要望があった。観光バスのスペースを確保しながら利用してもらうことで理解を得ている。



麓地区駐輪駐車場での現地調査

A 建設工事については全て電子入札であり、開札当日には落札業者に通知している。

(港湾商工課)

Q さんふらわあの経営状況は。

A 貨物については好調であり、内部努力と償却の減少により、4年ぶりに黒字となった。ただし、船舶の老朽化による新造船の課題を抱えている。

一般会計当初予算

(財務課)

Q 電子入札の割合と、業者への通知の仕方は。

Q オラレ基金の活用に期待をしていたが。

A アピアに核となる店舗が出店し、相乗効果で売り上げを伸ばすこと

で、早い段階で地元工業や教育振興に充てていきたい。

Q スポーツ合宿への課題と要望は。

A 合宿は非常に好調であり、県内で2番目の実績である。ボルベリアダグリのマイクロバスが古くて小さいこと、しおかせ公園のサッカー場の一面を人工芝にできないかなどの要望がある。

(税務課)

Q 公金の一元化について、債権対策委員会では前向きな協議がされているのか。

A 財務課が中心となり委員会では議論がなされている。税務課では職権で滞納整理や公売ができるが、他の公金所管課はできない。条例や規則を定めるなどの方向で検討している。

(企画政策課)

Q 移住定住促進事業では学区の指定があるが、通学区を変更した場合対象にならないのか。

A 通学区に関する規

制があり、自治会に入ることが原則で、学区が外れた場合は補助金の返納となる。

(総務課)

Q 職員の適正化計画のもとに正職員の純減が進んでいるが、25年度の職員数は。

A 正職員は339名で、嘱託職員227名、臨時職員85名である。

(情報管理課)

Q コンビニ収納への準備は進んでいるか。

A 26年4月から収納を開始する予定で進めている。市税、住宅使用料、保育料、集落排水の使用料など収納代行業者が契約しているコンビニでの扱いが可能となる。

志布志市国民宿舎 特別会計予算

Q 指定の休暇村サービスの経営状況はどうか。

A 前年度と比較し好調である。収入全体で20%増であり、特にレストランは200%増である。

埋蔵文化財センター条例を可決

文教厚生委員会



埋蔵文化財センターでの現地調査

志布志市埋蔵文化財センター条例

Q 県内の市町村が同じような施設を持っているのか。また、志布志の特色は何か。

A 県内には鹿児島市の考古歴史館をはじめ5ヶ所ある。志布志市の施設の特徴は、黎明館にある志布志城の復元模型の2分の1のスケールのジオラマ、説明ビデオ、志布志の歴史の常設展と高吉遺跡の土層断面図、有明地区土橋の銅矛のレプリカや原田の軽石製組合せ石棺などで、また、国指定の文化財である安楽山宮神社の銅鏡のレプリカなどを展示する予定である。

一般会計当初予算

(教育総務課)

Q 施政方針で、給食センターの統合に向けて調査をしていくとあるが。

A 統合する場合の課題について調査するものである。

(生涯学習課)

Q 迫田アヤ基金を使つての「志ふれあい交流館」(仮称)の、提案に至るまでの経緯は。

A 子どもから高齢者までの交流の場として、庁内検討会において協議を行い基金の活用をすることになった。

(国民文化祭実行委員会)

Q 国民文化祭実行委員会事業について、27年度はどのようなことが行われるのか。

A 平成27年度に国民文化祭が鹿児島県で開催され、各市町村において実施される。市では、これまで「志のエッセイコンテスト」のエッセイ集の映像化をする計画である。

(市民環境課)

Q 浄化槽設置整備事業

で、65歳以上の2人世帯、40坪以上の家の場合に、浄化槽の規模の特例はないのか。

A 世帯員の増が見込めない場合に、135㎡を超える家屋でも5人槽でも良とする例外が認められるようになった。

(福祉課)

Q 福祉タクシー運行事業で、市外への運行、旧町間の乗り入れの試行、街部の買い物弱者への対応は。

A 市内限定の運行であり、現在の運行以外に、旧町間の乗り入れの試行をして、路線形式で乗継等、専門業者の意見を聞き良いかたちで運行できる路線を協議していく。

(保健課)

Q 配食事業の自己負担引き上げは、福祉の面から考えた場合どうか。

A 事業の原資である地域福祉基金が、8年間で枯渇する状況もあつて補助事業へ移行したい。課税、非課税者で差を設けるべきであるという考えのもと設定した。

反対討論

○食の自立支援事業は、一人暮らしの虚弱な高齢者に、食生活の改善、健康の保持、安否確認が目的で、制度を維持するため、財源を確保するため引き上げをする、これは本末転倒であり、もう少し真剣に考え提案されるべきである。

国民健康保険 特別会計予算

Q 被保険者の減少は、どういったことが主な理由か、また、医療費の伸びは。

A 減少は後期高齢者医療保険への移行が主で、医療費の伸びは、1月診療分の対前年度同月比で3・24%の減である。

反対討論

○国保の広域化がなされると、法定外の繰り入れもできない、更に大変な状況が起きてくる。国に声を上げることが大事で、不十分である。

後期高齢者医療 特別会計予算

Q 保険料の滞納で、普通徴収の方々のもとに、行く徴収職員体制は。

A 分納の方については、嘱託徴収職員が、他の方々については、督促状送付の納付と窓口納付である。

反対討論

○75歳ですみ分けするよう医療制度のあり方は問題があり、考え直さないといけないと思う。

介護保険特別会計予算

Q 特別養護老人ホーム等含め介護施設の待機者は。

A 平成24年6月で、特別養護老人ホームの待機者が202名である。

反対討論

○サービスを受けたいと思つても受けられない。待機者も多く、高齢化がますます進む中で、もっと国も市も努力が必要であり不十分である。

下水道管理特別会計予算

Q 下水道使用料は前年度と比較して増額であるが、加入率の引き上げの見込みは。

A 現在、73・72%の加入率であり、新規の加入を約40件見込んでいる。

曾於東部地区基幹水利施設の管理事務を 曾於市から志布志市に移管

産業建設委員会

・志布志市曾於東部地区基幹水利施設管理條例の制定について
・曾於東部地区基幹水利施設管理事業の事務の委託の廃止について
・曾於東部地区基幹水利施設管理事業の事務の受託について

Q 当初の施設管理の取り決めは。
A 当初は19年度から曾於市が実施するという協議であった。その後、受益地内が最も広い志布志市に事務所を移設した方がスムーズに管理ができるという協議がなされたところである。

一般会計補正予算 (第6号)

Q 志布志漁協振興補助金は、借入金返済のための補助ということだが、漁協の経営はそれほど厳しいのか。また、今後の支援策はあるのか。
A 職員の人件費も出しておらず、理事の方々の報酬も毎年カットされており、今年度は水揚げ高も1億円を切るという非常に厳しい状況である。今後は、長期の

事業計画を作成するよう依頼しており、具体的な計画が示されれば支援も考えたいという市長の意向を聞いている。

一般会計当初予算 (農政課)

Q 25年度に全国茶サミット大会が志布志市で開催されるが、これまでの大会の成果は。
A 優良品種の育成、緑茶の輸入阻止運動の展開や、お茶の振興に関する法律の制定に向けた取り組みなど、今日の茶業振興に寄与している。

(建設課)

Q 県は工事請負契約に係る最低制限価格の引き上げをしたが、県と同等にする考えはないか。
A 入札・契約運営委員会でも協議をして、新年度から、県と同等にする方向で検討している。

(耕地林務水産課)

Q 特用林産物振興事業の販路拡大支援とは。
A 市場などと直接契約を結ぶために、花木生産組合の組合員が市場な

どに行くための旅費を2分の1助成するものである。

Q 大隅中央区域農用地総合整備事業償還金は、毎年同じ金額を償還するのか。また、グリーンロードの延長は志布志市で何キロあるのか。
A 平成16年から31年までの償還計画で、金利を含めて約7800万円の均等割りである。延長については志布志の町原から大崎町との境まで約6.4キロある。

(農業委員会)

Q 農地保有化事業について、売買斡旋の確率は何割くらいか。
A 9割程度は成立する。

(畜産課)

Q 志牛肉販売助成事業の飼料添加物はどのようなのか。実績はあるのか。
A とうもろこしの粉でできたホミニンフィードと、酵素を混ぜてペレット化したものを与える予定である。ホミニンフィードはオレイン酸濃度が高く、脂質改善につながり、酵素はうま味成分

に効果がある。実績は2頭と少ないが、2頭ともオレイン酸濃度が他よりも高い数値であり、手ごたえを感じている。

Q 昨年、長崎で全国和牛能力共進会が開催されたが、次期大会に向けての取り組みは。
A 本年度は、繁殖牛のデータなどを調査しながら、対象牛などを洗い出していく作業をした。

Q 企業債の繰り上げ償還の見込みがあるか。
A 人件費削減、水道料金の値上げが条件となっているため、この条件をクリアしないと繰り上げできない。繰り上げをすると特定の世代に負担がかかるという考え方もあるので、世代間の公平性を図ることを考慮して、今のところ考えていない。

25年度水道事業 会計予算



曾於東部地区基幹水利施設
(中岳ダム中央管理所)での現地調査



小野 議員

移住定住促進事業の推進を図れ

▶ 様々な情報媒体を活用しPRする

小野 副議員 施政方針には、定住促進と地域の活性化を図るため対象地区に市外から新たに住宅を新築又は購入し、移住定住した場合には、補助金を交付する制度の創設と、市内の空き家を活用した空き家バンク制度の運用に取り組みとあるが、これらの事業を推進するにあたっての今後の見通しと課題を示せ。

市長 移住定住促進事業補助金は、市外からの移住者が対象となるため、様々な情報媒体の活用や都市部での移住セミナー等への積極的な参加を行い、PRを行う。空き家バンクについては、市内外へ



地域活性化伊崎田住宅

の情報発信はもとより、登録物件の調査や利用希望者の掘り起こしを行い、市内宅建協会の協力も得ながら取り組みたい。

消費者教育の推進を図れ

問 昨年8月、悪徳商法などの被害防止と消費者の自立支援を目的とした「消費者教育推進法」が成立した。巧妙化する詐欺や悪質商法から消費者自らが身を守り、合理的に行動する知識と能力を養う教育を、幅広い年代、場所で行うのが狙いである。本市の消費者教育推進の取り組み状況を示せ。

全庁的に協議し取組む

市長 港湾商工課内に消費生活相談窓口を設置し、専門の相談員により対応している。今後は法律の目的を踏まえ、消費者行政の所管課のみでなく、教育部局と連携をとるなど、全庁的な取り組みを協議して、市民の消費生活の安定及び向上を図る。

教育長 将来、児童生徒が消費生活に関する知識や技能を身につけ、それを実生活の中で適切に実践するためにも学校における消費者教育は、極めて意義がある。関係機関との連携を図り、学校における消費者教育の具体的な方策を講じる。

アレルギー疾患対策を

問 昨年暮れ、東京調布市の小学校で、アレルギーのある5年生の女子児童が、給食を食べた後に死亡した事故が起きた。我がまちの未来ある子どもたちが、楽しいはずの学校の給食で、命を失うようなことが、絶対あっては

ならない。本市では、このような事故が起きないために、どのように取り組んでいるのか。

細心の注意を払い安全・安心な給食を提供する

市長 本市でもアレルギー対応除去食や代替食の提供をしている。このような事故が起きないように教育委員会には細心の注意を払い、保護者や学校との連携を図り、給食を提供するよう指示した。

教育長 本市では、40人の児童生徒が食物アレルギーを有している。この子どもたちが悲しい事故に遭うことがないよう、食物アレルギー等を有する児童生徒の確実な把握と適切な対応について、学校・保護者・給食センターが一体となり、細心の注意を払い、安全・安心な給食を提供する。

いじめ・体罰対策を急げ

問 教師の体罰が大きな社会問題となっている。文部科学省の調べでは、2011年度に

体罰を理由に処分された教職員は400人を超えており、その3割程度が部活動絡みである。最近10年間を見ては本市でも現在、アンケート調査中であるが、いじめ問題と併せて、子どもたちの安心安全な学校教育環境の確立に取り組むのか。

安心な学校環境を作る

教育長 いじめの問題に関する緊急調査の際、回答のあった全事案については、各学校において該当の児童生徒との面談を実施し問題の速やかな解決に努めた。今回の体罰調査においても、寄せられたすべての事案に誠意を持って対応する。悩みを抱えた児童生徒が、誰にも相談できず最悪の結果を招くことのない相談体制の在り方など、すべての子どもたちが安心して学べる環境の確立に今後とも全力を尽くす。



平野 議員

青少年育成市民会議の機能充実は

▼各地区の意見を聞き工夫や検討を加える

平野 栄作 議員 少子化・高齢化が進展する中、青少年を取り巻く環境は複雑多岐化しており、健全育成推進は非常に重要なことである。家庭・学校がベースとなり、地域がバックアップすることで、相乗効果が一層高まっていくと考える。

識の低さもあり、思うような成果が現れていないと感じている。

教育長 地域ぐるみで事業が展開され青少年育成の気運が徐々に高まっている。活動形態の違いが温度差や活動の意識の差を生んでいる状況もあり、もう一步ではないかと認識している。

指導者の連携強化は

問 指導者の高齢化や事業継続によるマンネリ化等を改善するためにも、コーディネーターを中心に指導者等の協議の場をつくり、横の連携を強化する時期にきているのではないかと。

工夫や検討を加える

市長 総体的には、何らかの事業見直しが必要



茶道教室

要な時期にきていると思う。青少年市民会議はそのまま継続設置し、課題である各地区青少年育成校区民会議の在り方について、今後工夫や検討を加える。

教育長 いじめや非行が社会問題化している昨今、青少年の健全育成は我々大人の責任である。地域の意見や知恵を聞きながら、本市の青少年が心豊かにたくましく成長する手助けをしていきたい。今後は校区と校区・活動する団体と団体というように、縦横無尽に連携をとりながら、各地区の活動がより活発化するよう努力していく。

電気自動車購入への補助の考えは

問 施政方針に、低炭素社会の実現に向けた取り組みとして「今後

も他の分野も含め推進したい」とある。鹿児島市・霧島市・薩摩川内市や県補助金では屋久島町が、電気自動車購入補助にも先駆的に取り組んでいる。環境行政に力を入れている本市では導入する考えはないか。

調査し協議する

調査し協議する

市長 現在実施している自治体における二酸化炭素削減効果やインフラの整備状況を調査して、他のものと組み合わせた補助金実施を協議していく。

畑かん事業の茶防霜水不足その後は

問 平成22年6月議会において、同僚議員が畑かん事業における茶防霜での水不足について質問をした。
市長は、「県営事業が終

了後に新たな水の確保について取り組みをすることになるが、新規事業を検討する場合は、意向調査を経て10年ぐらゐの期間が必要であり、一日でも早い採択に向けて取り組み」と答弁した。その後の進捗状況は。

時間はかかるが 要望を重ねる

農政課長 県営事業が一年延長となり、その後に取り組むこととなるため、県の畑かんセンター推進事業課等とどのような県営事業があるか検討している。茶園の団地化が前提となるために地域の団地化を現在模索しており、できた段階で県営事業の協議をしていくことになると思う。

市長 茶防霜での水が不足していることについては関係機関に伝えてある。時間はかかるが引き続き要望を重ね、将来的には十分な水が供給できるような体制になっていくよう期待している。

市長 校区民会議を中心に特色を生かしながら事業が推進されているが、マンネリ化や意

識の低さもあり、思うような成果が現れていないと感じている。

教育長 地域ぐるみで事業が展開され青少年育成の気運が徐々に高まっている。活動形態の違いが温度差や活動の意識の差を生んでいる状況もあり、もう一步ではないかと認識している。



立山 議員

山重地区の水田ほ場整備の採択年度は

▶平成26年度採択を目指す



中山間有明地区の倉ヶ崎団地

立山 静幸議員 市長の施政方針によると、中山間地域総合整備事業で、志布志地区だけが平成25年度採択予定である。松山・有明地区については順次計画を進めるとあるが、山重地区の3団地の団体宮中山間地域総合整備事業の採択年度はいつか、また、完了予定年度は、

市長 市内全域を対象とした中山間地域総合整備事業を申請したが、県の調整により志布志、有明、松山の地区設定がなされた。志布志地区は平成25年度採択を予定し、有明地区については、団体宮中山間地域総合整備事業で、平成26年度採択を目指している。工期は平成31年度までの見込みである。

九州アジア観光アイランド 総合特区の活用を

問 九州観光推進機構は2月15日、九州7県と福岡市を「九州アジア観光アイランド総合特区」に指定した。内容は、通訳案内士の国家試験を受けなくても、機構による研修を受講すれば通訳案内手法の特例措置の導入等が簡素化される。市内には、外国人の方が多数居住されている。これらの人達に内容を十分説明し、通訳案内士の資格を取ってもらい、外航クルーズ船や外国船寄港の受け入れ態勢を整備する必要があると考えるが、どうか。

特区の進捗状況を 見ながら

市長 「九州アジア観光アイランド総合特区」については、指定は受けたが、現在、国と協議の段階である。事業が開始されれば、通訳案内士の国家試験がか



ちんたら庵でのそば打ち体験

なり緩和されるので、特区の進捗状況や市内にどのような方が居住されているのかを含めて調査する。

山重地域に「食を中心とした事業はできないか

問 山重地域では、いろいろな事業に取り組んでいるが、女性のパワーを生かしコミュニティの場が図れるような施設整備は実施できないか。

市長 体験交流活動事業の支援事業はふるさとづくり委員会事業補助金を活用し企画して

問 25年度、国の新規事業はないか。

農政課長 新規事業として、旧小学校区を中心に活動する場合に集落連携推進対策に、地区と地域協議会、農業法人NPO等が事業する場合に上限額を設けて支援をする事業がある。しかし、国の予算がまだ確定していないので、確定後、説明会を開始していきたい。

市長 国の方から内容が開示されたら周知していきたい。



長岡 議員

長岡耕二議員 政府はTPP参加を事実上表明した。本市は食糧供給基地として発展、成長してきており、多くの農家、港には飼料工場・産地処理工場、流通それに関連した産業などがある。交渉参加は大きな影響があると思うがどうか。

市長 本市の主な農畜産物への影響について試算すると、さつまいも、米、茶等、耕種部門の主な3部門だけでも約40億円の悪影響。また、畜産部門では、関連企業を含め約1000億円、地域経済への影響7億8300万円の悪影響が試算される。TPP交渉参加については断固反対していく。本市ではたくさん農産物が生産され、外国から安い農産物が輸入され

TPP交渉参加で本市産業への影響は

▼地域経済に深刻な影響を与える。断固反対していく



TPP参加により配合飼料工場の減産も予測されている

ると農家の所得は激減することが予測される。行政として、付加価値の高い農産物生産のための体制整備、国際競争に勝つための体質強化、所得保障制度など

講じ、影響を最小限にとどめる必要があると考えている。

市水道の通水していない地域への財源措置は

問 昨年の9月議会で市水道の通水していない地域への対応の答弁があったが、財源措置の取り組みはどうか。

水道事業単独では、困難と判断

市長 地域の方々の要望にかなう手法はないか検討したところ、事業費1億1457万円、戸別割で約224万円と結果が出た。採算性など考えると水道事業単独では困難と判断した。他に費用軽減として、グループ又は集落内水道組合の設立を検討したい。

認可と水質調査は

問 給水区域外であるため認可が必要とのことだがその経過はどうか。水の腐食など健康上の問題の調査はどの程度進んでいるか。

財源確保後の認可、通水開始後の調査となる

市長 認可は財源確保し事業実施を決定してから申請する。給水を開始した後に水が滞留している様子があれば水質調査を行いたい。



地下水を使用している家庭



福重 議員

曾於医師会立病院の現状をどのように考えているか

▶ 医師不足が深刻な状況だ



曾於医師会立病院

福重彰史議員

曾於医師会立病院は、救急医療の拠点病院として、総合病院的機能のある中核医療施設として開設され、当初はその使命と目的に応えた医療機関であったと思う。現在は常勤医がいるのは4科目、救急医療で一番肝心な脳疾患や心疾患に対処する常勤医がいらないなど、大変厳しい状況ではないかと思うがどのように考えているか。

市長 郡内の地域医療の支援病院、救急医療を担う機関として住民

の医療を支えていたが、特に心疾患・脳疾患等について医師が不足した科目があり深刻な状況だと認識している。

医療支援の方策策定会議においても医師の派遣が課題としてあげられてきた。今後研修医の派遣制度の見直しが行われ、より充実した派遣が鹿大病院等からされる方向と聞いている。

問 都城市郡医師会立病院が、現在地からかなり離れた沖水地区に来年10月頃移転する。

都城の病院も移転するが

曾於地区は緊急時の対応がさらに厳しい地域になってくるのではないか。

協議会を設置する

市長 曾於地域の医療体制は厳しいものがある。移転が目前に迫り危機感が高い。今回曾於地区2市1町で協議会を設置して地域にふさわしい医療体制を構築したい。

畜産品評会の現状はどうか

問 全国和牛共進会の経験と反省を踏まえ日本一奪還を目指し取り組みが始まっているが、その第一歩は市内の春・秋の品評会であると思う。現状をどのように捉えているか。

頭数が年々減少している

市長 地区の共進会品評会が大切だと十分認識している。現状は出品頭数が年々減少し、合併時と24年度と比較すると、春で39.2%、秋で53%の減となっている。

いる。高齢化や多頭化など構造的な変化、出品環境の変化もあり頭数が減少している。

運搬費の手立ての考えは

問 出場数が少ない理由を農家や組織の役員に聞いてみると、子牛価格やコストが厳しい中、運搬費を出してまでという声が大半だ。これに何らかの手立てをすれば頭数が増えると思うが考えはないか。

方向性を出せると思う

市長 生産者団体・関係団体の意見を聞き、5月の肉用牛振興協議会である程度方向性を出せると思う。

整備改修をすべきでは

問 尾野見小グラウンドは本格的な改修が行われず、その場しのぎが大きくなつてとして昨年の運動会に支障がでた。児童や校区民の心情を考え、速やかに整備改修の取り組みをすべきではないか。

耐震化に合わせ検討したい

市長 排水に支障があると聞いている。優先度や関係課の意見も聞き判断したい。

教育長 優先順位等も考慮し、事業効果があるように学校施設の耐震化に合わせ、抱き合わせてできることはないか検討する。

他に
・移住定住促進事業
・学校施設の耐震化
・さゆり保育園の排水対策等について質問した。



春の畜産品評会



鶴迫 議員

伊勢堀墓地駐車場の確保は

▼ロータリーを整備拡充・民有地借用へ

鶴迫京子議員 都市公園「伊勢堀墓地」では、お盆・正月・彼岸(春・秋)には車や人の出入りが多く混雑し、離合が困難になり大変危険である。その期間だけ一方通行にできないか。また、近隣の空き地を借り上げ、駐車場を確保する考えはないか。

めると、かなり駐車スペースが確保されると考える。

本市のイメージング「フロムじぶし」の活用は

問 本市のイメージング「フロムじぶし」は当時、志布志小4年生の作詞であるが知らない人も多い。施政方針に論語・古文の暗唱で音読推進とあるが、このほかに「フロムじぶし」も入れられないか。また、健康体操の「フロムじぶし」元気アップ体操は、曲を聴くことで「フロムじぶし」を自然に覚えられる。そこで、ラジオ体操のように全市民へ、今以上に推進し「健康づくり日本」につなげるべきだと思ふがどうか。

音読に「フロムじぶし」も教育総務課長 音読の中に「フロムじぶし」の曲も各学校と協議しながら進めていく。

フロムじぶし元気アップ体操をこどもたちにも広めていく

市長 健康づくり推進員が普及活動に努めているが、主に大人や高齢者が対象となっている。こどもも楽しめるように、今後は公民館や地域の行事・校区運動会等で、元気アップ体操を取り入れてもらう。ケーブルテレビ(BTV)で今、日に2回放送の元気アップ体操の回数など、協議を進める。また、こどもたちが元気アップ体操に取り組んでいる様子を、市民チャンネルで流すな

ど、広めていく。

本市のイメージキャラクタへの取り組みは

問 本市のイメージキャラクタを一般公募して観光振興につなげよと、昨年の3月と6月議会会で一般質問したが、どうなったか。

「志の観光推進協議会」の中で検討する

市長 「志の観光推進協議会」を設置したので、今後、十分議論や検

討を加えていく。

布を使った特産品の製品化を企画せよ

問 志布志の特産品として、飲食物以外で土産品になるようなものがあるのか。また、志布志の名の由来に、「志のあふれる民が天皇に布を献上した」とあるが、布を使ったハンカチ・タオル・風呂敷などアイデアを募り製品化することを企画する考えはないか。

すばらしい企画なので仕上げていく機関をつくって

市長 工芸品という観点からは残念ながら、ない。伝説の地名のきっかけが天智天皇に献上した布なので、市の特産品として新たな視

点で取り組むことはすばらしい企画である。関係者と協議しながら、仕上げていく機関をつくっていかけてもいいと考える。

おもてなしの心醸成 事業の成果は

問 施政方針で、「おもてなし日本」のまちを全国発信するためにおもてなしの心醸成事業を一般社団法人「志布志市観光特産品協会」に委託することある。今までの成果は。

接客やおもてなしの事例などを学んでいる

市長 市内57ヶ所にまちかど案内所を設置し観光情報や資料を提供。ほかにアピア内の港湾通りで「茶いっぺ」のおもてなしを提供している。また、県観光連盟主催のおもてなしセミナーや観光人材育成塾へ参加し、接客やおもてなしの事例などを学んでいる。

安全走行の看板を設置 民有地の借用を相談中

市長 混雑は一時的なものなので周辺住民にも不便を強いる。当面、墓地入り口に安全走行の看板を設置する。トイレ簡易水洗化工事と墓地中央ロータリー部分の駐車場整備を、25年度拡充する計画である。また、墓地隣接の民有地借用については相談中である。拡充されるロータリー部分の駐車場を含



志布志市観光特産品協会のオリジナルキャラクター「志武士ししまる」



下平 議員

6次産業化で1次産業の振興は考えているか

▶ 6次産業の体制づくりをおこなっている

下平晴行議員 6次産業化の目的は、地域資源を活かした農林水産業者等による新産業の創出等に関する施設及び地域の農林水産業者等の振興を図ると共に、食料自給率の向上などに寄与することである。1次産業の農林水産業の振興をどのように考えているか。

市長 6次産業化の事業周知と推進を図るために、市のホームページに6次産業化に関する紹介や、講演会などの情報を提供すると共に、担当窓口で相談を受け体制づくりを行っている。また、市の認定農業者連絡協議会や農林水産技術員連絡協議会で、6次産業化に取り組み先進地域研修を実施している。

水保全について

問 ①水保全シンポジウムにおいて、畜産し尿等の垂れ流しを防ぐ手段として、バイオマスや完熟堆肥として利活用することの提言があったが、市の今後の

取り組みはどうか。②前川での鮎の大量死の調査結果と対策について。③河川浄化対策協議会の開催と志布志市河川浄化対策連絡協議会(仮称)の設置について。④地下水保全条例の制定についてどうか。

一部の経営体の垂れ流しで住民に多大な迷惑

市長 ①一部の経営体から垂れ流して河川地域の住民に多大な迷惑を掛けている。提言のバイオマスは、ガスの回収による発電や環境負荷の軽減も併せて図られ、不法投棄を防止する有効な手段であるが、問題点は維持費等の経費が多である。完熟堆肥は化学肥料の低減や環境負荷低減に有効な手段である。補助事業や単独事業を活用して、また、畜産農家の研修等の機会を捉えて、完熟堆肥生産と適正量施用の研修機会を設けるよう関係機関と協議をする。②県の環境技術協会で分析調査をしたが、確定的な原因までは分からなかったため、前川鮎変死観

察結果報告会及び再発防止対策会議を開催した。③河川浄化対策協議会は年1回開催した。市行政各課の水保全に向けた取り組みを示して、河川水質の現状、前川鮎大量死の報道に対するてんまつ等を議題として話し合いをした。どの協議会も現状認識し、さらに活発な活動をしていく。④養鰻業者は大変厳しい状況にある。そついつたことを十分斟酌しながら取り組む。



前川

工業団地化の取り組みは

問 8 haの開発と同時に隣接する約3 haの土地も工業団地として取り組むことで、より一

層の投資効果があると思うがどうか。

8 haで早期事業進捗を図る

市長 3 haも候補地として検討した。しかし3 ha一体は宅地化が進んでおり、工業用地が民家に隣接することや専用道路となる臨海道路で分断されて小規模団地になるため、財政が厳しい現状では、8 haで早期事業進捗を図ることにした。

上町商店街の駐車場は

問 上町商店街の活性化を図るため、駐車場の確保はどうか。
今後調査をして可能性があれば取り組む

市長 公共で確保となると様々な要件が必要になる。今後調査をして可能性があれば取り組む。

歴史まちづくり法は

問 昨年の3月議会で

の一般質問の歴史まちづくり法の取り組みについての答弁で、市長は歴史のまちづくり法の導入ということはさておいても、歴史的風致維持向上計画の作成に取り組みとのことだったが、その後の取り組みはどうか。

計画書は推進がされていない

市長 歴史的風致維持向上計画書は必要と思っていたが、歴史まちづくり法の推進が前提になっていないので、計画書は推進がされていない。

他に
・学校の体罰状況について質問した。



上町商店街

人生は、親の結婚に始まり
母親の妊娠から形には現れな
いが、節目が始まります。

帯祝・命名、七五三と子ども
の成長を喜び、20歳で一人前
の大人としての成人式。男は
41歳、女は33歳で厄年の厄祓
い、そして、還暦・古稀・喜
寿・米寿・白寿と年齢

で人生の節目のお
祝いをする慣わし
になっている。

私達議員は、
4年が1期の節
目である。平成
25年度の当初
予算も成立し、
最後の年度にあ
たり、議会と議
員の職責につい
て、書物どおりに再
確認してみたいと思
う。

議会は、住民を代表する公
選の議員をもって構成され、
地方公共団体の意思決定機関
である。

議会の使命は、地方公共団
体の具体的政策を最終的に決
定すること。さらに、執行機関



の行財政の運営や事務処理な
いし事業の実施が、すべて適
法・適正に、しかも、公平・効率
的に、そして民主的になされ
ているかどうかを批判し監視
することである。

議員の職責は、具体的な政
策の最終決定と行財政運
営の批判と監視を完
全に達成できるよ
う議会の一員とし
て懸命に努力す
ることが議員の
職責である。

年度当初にあ
たり、市民の皆
様、行政、議会が
それぞれ力を合
わせて志布志市
発展のため、さら
には市民の福祉向
上に積極的に努力し
ようではありませんか。



野村公一議員逝去



市議会議員野村公一氏
が、在職中の3月22日に逝
去されました。享年69歳で
した。
同氏は、志布志町議会議
員に昭和50年に初当選さ
れて以来、8期28年余にわ
たり議員を勤められました。
この間、民意を代表す
る真の議会人として、議長
を始め、志布志港振興対策
等調査特別委員会委員長
など多くの重責を担われ
ました。在職中は、優れた
知性と先見性、そして、そ
の洞察力をもって、持ち前
の手腕を遺憾なく発揮さ
れ、縦横無尽のご活躍をさ
れました。
ここに謹んで哀悼の意
を表し、ご冥福をお祈り申
上げます。

受け入れた行政視察

- 1月21日(月) 埼玉県新座市議会
・農業政策について
- 2月5日(火) 広島県呉市議会
・環境政策について

どうぞ傍聴席へ 次回定例会は6月です

編集後記

金子 光博



今年の桜はあまりにも散り際が潔く、
あっという間に葉桜となってしまいま
した。

さて、春の選抜高校野球は尚志館ナイ
ソンの湧刺としたプレイに熱中し、劇的な
逆転勝ちに大興奮でした。皆様も新年度
を迎え新たな気分で日々の生活をお送
りのことと存じますが、高校野球のよう
にフレッシュに一生懸命、全力で臨みた
いものです。

我々、志布志市議会は不幸にして、1
名の同僚議員を失いました。ともにも志布
志市発展の志を持ち活動をしてまいり
ました。残念でなりません。今後は、残り
ました23名で残りの任期を精一杯努力
してまいります。市民の皆様も「議会だ
より」を「愛読」いただき、ご意見、ご要望
をお寄せいただきたいと思います。
常に新しく、そして開かれた議会を目指
し頑張つてまいりますのでよろしく
お願いします。



発行責任者

志布志市議会議長 上村 環

広報等調査 特別委員会

- 委員長 坂元修一郎
副委員長 平野 栄作
委員 鶴迫 京子
本田 孝志
長岡 耕二
金子 光博
岩根 賢二
東 宏二
小園 義行